

PCR Inhibitor CleanUp Kit

Code No. 315-09461

マニュアル（第1版）TY2403

I 製品説明

PCR Inhibitor CleanUp Kit は、PCR や逆転写反応（RT-PCR）などの核酸増幅反応を阻害する物質を、核酸溶液から効率的に除去するためのキットです。

本品は、AC Slurry と Filter Column から構成され、AC Slurry に含まれる活性炭や親水性ポリマーにより、核酸溶液に含まれる腐植物質（フミン酸）、ポリフェノール、タンニン、メラニン、多糖類、色素などの PCR 阻害物質を吸着して除去することができます。カラムに AC Slurry を充てんし、核酸溶液を添加して遠心するだけの簡単な操作で、PCR や RT-PCR などのアプリケーションに使用できます。

<特長>

- ・ 約 10 分間の簡単操作
- ・ 精製した核酸溶液はそのまま PCR に使用可能
- ・ 酵素反応を阻害するフミン酸、ポリフェノール、タンニン、メラニン、多糖類、色素などを除去

II 製品内容

容量：50 回用

| 構成品名 | 容量・数量 | 保存温度 |
|---------------|---------------------|------|
| AC Slurry | 50 ml ^{*1} | 室温 |
| Filter Column | 50 本 ^{*2} | 室温 |

*1 AC Slurry は、活性炭と親水性ポリマーを含むスラリー（懸濁液）です。

*2 Filter Column は、本キット専用カラムとコレクションチューブからなります。

III プロトコール

プロトコールの一連の操作は中断しないで、操作手順通りキットを使用してください。

<キット以外に必要なもの>

- ・ 核酸溶液（サンプルから抽出した DNA または RNA を、水、TE バッファー、または低塩バッファーなどで溶解したもの）
- ・ 広径ピペットチップ（内口径φ1.5 mm 以上）
- ・ 遠心分離機（8,000 x g、室温）
- ・ 1.5 ml マイクロチューブ
- ・ マイクロピペット、ピペットチップ

操作手順は次のページをご覧ください。

製品の詳細・お問い合わせ

<https://www.nippongene.com/siyaku/>

本キットの詳細やトラブルシューティング(Q&A)は、ニッポンジーンホームページの検索窓（画面右上）に「315-09461」と入力してご覧ください。

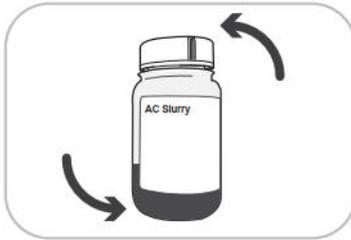
本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。
医薬品の用途には使用しないでください。

PCR Inhibitor CleanUp Kit

Code No. 315-09461, Manual Ver. 1 (TY2403)

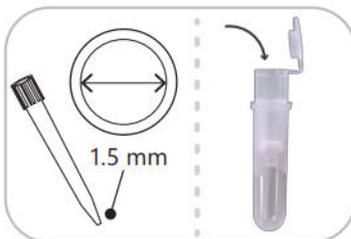
操作手順

- ① AC Slurryのボトルを10回以上転倒混和してよく分散させる。**



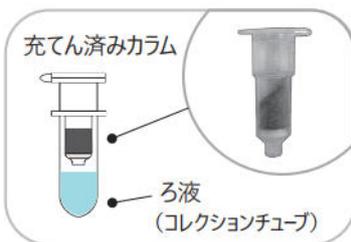
ボルテックスミキサーを使用するよりもよく混合できます。
 ボトルは必ず上下に転倒混和し、ボトルの底に充てん剤が残っていないことを確認してください。よく分散させたら、沈降が始まる前（2分以内）に次のステップに進んでください。

- ② AC Slurry 850 μ lを広径ピペットチップでFilter Columnに添加する。**



内口径 ϕ 1.5 mm未満のピペットチップを使用した場合、チップ内で目詰まりする可能性があります。
 AC Slurryがよく混合された状態を保持するため、添加後直ちに次のステップで遠心を行ってください。

- ③ 遠心（8,000 x g、3分間、室温）し、ろ液は捨てる。**



遠心後、充てん剤の層がカラム内に形成されます（充てん済みカラム）。白色の粉末が混ざっているように見える場合もありますが、使用には問題ありません。

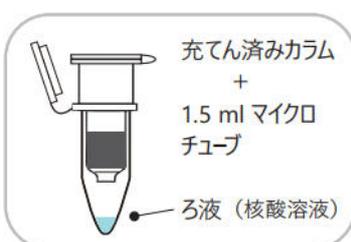
- ④ 充てん済みカラムを新しい1.5 mlマイクロチューブの上に移す。**

- ⑤ 核酸溶液 50-200 μ l をカラムに添加する。**

- ⑥ 蓋を閉め、室温で1分間静置する。**

すぐに遠心しないで1分間（～3分間）静置してください。

- ⑦ 遠心（8,000 x g、3分間、室温）し、ろ過された核酸溶液を回収する。**



得られた核酸溶液はPCRやRT-PCRなどの鋳型としてそのまま使用できます。